

# 地震防災対策 5

プレホスピタルケアと  
医療活動

事故や災害などにより多数傷病者の発生する現場では、一刻でも早く治療の優先順位を決め、必要な応急処置を行い、医療施設に搬送することが、傷病者の救命につながります。特に、円滑な医療を行うには「**3 T**」が不可欠といわれています。

「**3 T**」とは、

**Triage = トリアージ、Treatment = 治療、Transport = 搬送**、の頭文字を取ったもので、「**災害時の3 T**」とも呼ばれている。

トリアージは、現場で行われる3 Tの最初の作業、災害医療のスタートです。的確なトリアージを行うことが、医療効果を上げる最もよい方法ですが、トリアージに伴う搬送や治療の条件が整っていない、その状況が理解できていないと、効率のよいトリアージを行う事はできません。 「**一人でも多くの人を助ける、救命第一**」を目標に効果的な医療を行うこと、災害時の3 Tの原則を守り実践することは重要なことです。

# 1 プレホスピタルケアとは

## 1-① プレホスピタルケア

**プレホスピタル**とは、病院前、つまり事故・災害が発生した現場から医療施設までを指す。

**プレホスピタルケア**とは、傷病者が救出され、応急救護処置を受け、適切な医療施設に搬送される“現場から医療施設までの医療救護”を指す。

この一連の流れが円滑に行われるための**救急医療システム**が**プレホスピタルケア**であり、事故や災害時の救急医療は現場から始まるといえます。

また、事故や災害は一般市民の生活の場で発生することから、**プレホスピタルケア**（病院前救護）には、一般市民（バイスタンダー）による地域医療、応急救命処置から、専門職である医療者の救命処置まで含まれることとなります。

## 1 – ② プレホスピタルケアの重要性

現場へ最初に到着する医療者は概ね救急隊であり、**プレホスピタルケア**の中心となるのは救急隊員です。しかし、事故や災害は地域で発生することから、その現場に居合わせた人々が**一番の情報提供者・対応者**となります。

一般市民（バイスタンダー）の救援活動は、**救急隊員・救急救命士や医師・看護職の医療者**に引き継がれ様々な傷病者に対して、**緊急度・重症度に合わせたトリアージ**と必要な応急処置が施され、適切な医療機関に迅速に搬送されます。医療行為の空白をなくし、いかに早く医療施設に搬送するか、**「救急の連鎖」**が傷病者の予後を左右することに繋がっていく。

医療者は、以下の順序で医療活動を行います。

## ・ 安全の確保

傷病者の救助および傷病者を危険地域から安全な場所へ移動させ、二次災害の発生を防ぐことが重要です。また、救援者自身が災害に巻き込まれないようにしなければなりません。

## ・ 傷病者のトリアージ（より正確なトリアージ）

傷病者の治療・搬送の優先度・緊急度の判断（トリアージ）を行います。マンパワーや安全が確保された医療施設とは違い、人的・物的資源の限られた現場では、また救急搬送車内でも、実施できる医療は限られています。この状況を理解し、トリアージを行わなければなりません。

## ・ 的確な救命救急処置

まず最低限の応急処置として、止血・気道の確保を行い、次に、苦痛の軽減のための処置を行います。